

# 第一小学校 海洋体験学習

平成 29 年 06 月 27 日

- 日 付：平成 29 年 6 月 27 日（火）
- 時 間：9：00～15：00
- 場 所：南駿河湾漁業協同組合、御前崎魚市場、なぶら市場、アカウミガメのふ化場、日向子海岸、御前崎灯台、御前崎 渚の交番駐車場
- 参加者：第一小学校 4 年生（児童 111 名、教員 5 名 計 116 名）
- スタッフ：増田、松下、川口、他 2 名(南駿河湾漁業協同組合 職員 2 名)

昨年度から取り組む学校との連携事業として、今年度も御前崎市内の小学校を対象に海洋体験学習を行いました。今年度は各小学校の対象となる先生が主体となり、活動内容を共に考え、コーディネート・実施を行います。

今年度の初回の海洋体験学習となる第一小学校 4 年生は、総合学習のテーマである『御前崎市の魅力発見』の一環として、御前崎市の海について広く学んでもらう活動を行いました。



今回の学習は御前崎市にある漁港からスタートし、旧御前崎町の海辺を歩き、灯台を目指します。漁港に集まった子ども達は、南駿河湾漁業協同組合の方から御前崎で水揚げされる魚の種類や特産、漁法などについてお話を伺いました。その後、水揚げされた魚介類の競りが行われる市場の見学をさせて頂きました。



漁業についてお話を伺った後は港内を歩き、御前崎の港が持つ様々な特徴について説明をし、見学を行いました。

海上パトロールに出発する海上巡視船『ふじ』の出港の様子も見学することができ、子ども達としては貴重な現場を見学することができました。

その他にも、漁港だけでなく様々な目的で活用される御前崎港の様子も見学しました。



漁船が停泊する船着き場を横目に見ながら歩みを進め、次のポイントである『なぶら市場』に到着しました。なぶら市場は、年間を通して多くの観光客が訪れる観光市場です。店内で販売されているモノや施設内にあるご飯屋さんについて見学を行いました。



なぶら市場を見学した後は、御前崎市の海水浴場『御前崎マリンパーク』に向かいました。マリンパーク内には、海水浴場と御前崎漁港を一望できる高台があり、そこから『今まで歩いてきた道』、そして、『これから向かう先』の確認を行いました。



高台からビーチに降りてきた後は、御前崎で盛んに行われているマリンスポーツについての紹介を行いました。同時に、マリンスポーツを楽しむために必要となる『自分自身を守る方法』と『海を守る方法』について、説明を行いました。



今回は、海を守る方法の一つである『ビーチクリーン』を行いました。  
海岸に打ち上げられた流木やプラスチックゴミなどたくさんのゴミを、子ども達は一生懸命拾ってくれました。



ビーチクリーン後は、待ちに待ったお弁当タイム。  
たくさん活動をした子ども達は、あっという間にお弁当をたいらげ、疲れた様子もなく砂浜へと遊びに出掛けて行きました。



お腹いっぱいご飯を食べ、しっかりと休憩した後は、次へのポイント『アカウミガメのふ化場』へと向かいます。ウミガメの卵は砂の中に埋められている状態でしたが、子ども達は、地元でこの様な取り組みが行われていることに興味津々の様子で、卵が埋められている施設を食い入るように見学していました。



ふ化場を後にし、御前崎最大の磯場『日向子海岸』を横目に歩き、今回の最終目的地『御前崎 灯台』へと向かいました。  
日向子海岸で遊んだことのある子ども達は多く、「タコがいる場所！！」とたくさんの思い出を話してくれました。  
最後の坂道では、さすがに疲れた様子の子も達でしたが、休憩をしながら最後まで歩き切ることができました。



今回の最終目的地である灯台に、全員無事に到着しました。ここでは、御前崎灯台の歴史についてなど学びました。子ども達は、近くにあるお土産屋さんにも興味津々の様子で、どのようなものが売られているのか見せて頂き、お店のおばさんと楽しそうにお話をしていました。



一日を通してたくさん歩き、活動をしてきた子ども達は、さすがに疲れた様子。灯台から最後の力を振り絞り、バスの待つ御前崎 渚の交番駐車場へと階段を下りていきました。広場に到着後、本日の活動ふりかえりを行いました。子ども達は、疲れつつも楽しく活動を行うことができ、たくさんの感想を聞かせていただきました。

今回学んだことを学校に持ち帰り、総合学習のテーマに沿わせた『子ども達自身のテーマ』を作成します。そして、今年度残りの時間を掛け、子ども達自身が考える『御前崎の魅力』について調べ、まとめていきます。

海についてさらに調べていきたい子ども達は、秋にもう一度、海洋体験学習を行う予定です。その際も、授業のコーディネートをさせていただく予定です。

